

ネットの影に潜むサイバー犯罪 あなたを守るサイバーセキュリティ

- ◆ 近年、インターネット利用者の増加に伴い、偽サイトによるフィッシング詐欺事案等、国民生活を脅かすサイバー犯罪の危険性が社会全体で大きく取り上げられています。
- ◆ サイバー犯罪の被害に遭わないように、次の対策を実施しましょう。
- ▶ IDやパスワードをしっかり管理し、パソコンやスマートフォンには、ウイルス対策ソフトを確実にインストールする
- ▶ パソコンの基本ソフト(OS)やウイルス対策ソフトを最新の状態にしておく
- ▶ 身に覚えのないメールの添付ファイルやURLは開かない
- ▶ 不必要なアプリや信頼のおけないサイトからソフトウェアをダウンロードしない
- ▶ オンラインショップでの買い物では、そのサイトが本物かどうかよく確認する



STOP THE “交通事故”



その路面、湿潤か凍結かの判断が難しいのが
ブラックアイスバーン～滑っても急ブレーキ、急ハンドルは禁物です。



圧雪路面でハンドルを取られる原因が**わだち**～路外逸脱事故や対向車線はみ出しの原因にもなるのでしっかり減速しましょう。



暴風雪による一瞬の視界不良が危険な**ホワイトアウト**～安全速度で徐行運転をしましょう。

北海道警察



雪害事故にご注意を!

- ❄ 氷雪が屋根から出ている軒下は、危険なので近づかないようにしましょう
- ❄ 屋根の雪下ろし中にハシゴや屋根から落下しないよう、転落防止措置を講じましょう
- ❄ 落雪の下敷きにならないよう、除雪中は自身の安全場所を確保しておきましょう



不審な訪問・マーキングに注意!

家族構成、資産、留守にする時間等を把握するために訪問し、強盗、窃盗、詐欺等の下見をしている可能性があります。

<不審な訪問の例>

- 買取業者を名乗る者が家に入れたら、貴金属の保管場所を勝手に物色し、撮影していた。
- 点検業者を名乗る者が、点検とは関係のない部屋にまで無理矢理入ろうとした。
- 実在する電力会社を名乗る者が、口座の暗証番号を聞いてきた。
- 実在する警備会社を名乗る者に名刺を求めたら怒り出した。警備会社に問い合わせたら、「訪問していない」と言われた。

<不審マーキングの例>

- インターフォンに「19:00X」、「C1 A2」と書かれていた。
- ポストを開けたら石が落ちるように仕掛けられていた。
- 電気メーターに見覚えのないシールが貼られていた。
- 車のワイパーに実在しない会社のチラシが挟まれていた。

突然、知らない人が訪問してきたら・・・

家の中に入れない! 玄関も要注意!

玄関であっても、家族構成等を知られる可能性があります。

名刺・社員証の提示を求める!

提示を拒んだり、ほとんど見せないような場合は要注意です。

家で不審なマーキングを見つけたら・・・

取る! 剥がす! 消す!

消す前にマーキングの写真を撮って、警察に通報してください。

不審な訪問・マーキングがあったら110番!

北海道警察